

No 10

Example Report

Builder /

菱田工務店

Note /

南信地区 K邸

家族構成 2人

A_森のなかでK邸は目立たない。自分たちが暮らす前から存在し、自分たちより長生きするはずの森への敬意がある。だから、この家は美しい。 **B**_天然成分の保護塗料をしみ込ませた外壁のスギ板は、耐久性が高く、色落ちも少なく、メンテナンスも容易。 **C**_ウッドデッキには薪割り用の斧、焚き火コンロなど、森での生活道具が当たり前のように置かれている。



森を呼吸するように暮らす家

住みたかった森のなかに
あがれていた工務店で
森へなじむように建てる

八ヶ岳山麓の森にその家はあります。周りの木々に紛れるように。その慎ましさゆえ、人の手でつくられたもののなのに、この森を構成する仲間として認めてもらったみたいに、やさしさに包まれて。

2025年の夏からKさん夫妻はこの森で暮らしています。もともと県外出身の二人は八ヶ岳を縁に知り合いました。やがて、大好きな北八ヶ岳の森のような環境に家をつくりたいと考え土地を探したところ、広葉樹が多く森の雰囲気も明るいこの場所に巡り合います。

もう1つの巡り合いが、インスタグラムで見つけた菱田工務店の家でした。見学に訪れたモデルハウスも、北欧の民家をデザインベースにしながら、大工の手仕事を生かした、日本の風土に見事にマッチする家でした。その佇まいは、二人で探し当てた土地にもきつと馴染むに違いありません。

「こんな家がいい。ただ、予算的に自分たちには難しいのでは？」
あこがれは実現しないものと思いはじめたところへ、「予算のことはいったん置いて、お二人がどんな暮らしをしたいか、何でも聞かせてもらえますか」。菱田工務店の担当者はそう促してくれたのです。

1日の過ごし方、森と人の関係性について、年を取ってからのこと、あれやこれや思いの丈を伝えた後で、「それなら」と紹介されたのが、菱田工務店がまさに展開を始めようとしていたコンセプトハウスでした。



D_同じ木の家でも、ログハウスは趣味に合わなかった。室内で目に入る木のボリュームは3割を目安とし、すっきりした空間に仕上げた。床はモールテックス。 E_梁は菱田工務店が自社で買い付け乾燥させたクリ材。その曲がりを生かした大工の手仕事が見事。 F_ソファベッドに腰かけたときの少し籠もる感覚が、読書好きの奥様のお気に入り。向かいの壁にプロジェクターで映像を投影して、映画鑑賞することたびたび。 G_キッチンのコーナーに設けた窓からの光や眺めもいい。料理好きのご主人の要望で、業務用のコンロやオープンを入れている。 H_窓辺に置いたアナログレコードのプレーヤーで、ボブ・ディランやビートルズを聴く。「レコードに針を落とす所作がたまらない」とご主人。



ハケ岳は夏沢峠を境に南ハケ岳と北ハケ岳に分かれます。ダイナミックな南側に対し北側はスタティック（静的）と形容したのは、『北ハッ彷徨』を著した山口耀久さんです。「北ハッ」は己と向き合いながら、さまよいながら楽しむ山であると。 K夫妻は、稜線を歩いてダイナミックな景色を味わうより、樹林帯のなかを足下や目の前の自然を慈しみながら歩きたいタイプの山好きです。そして、日々の暮らしもそんなふうでありたいと。 買い物へ出かけるのに便利な場所とは言えません。冬の寒さ

は平地とは違います。年に何度も草を刈り、林の手入れをし、暖房のための薪をつくらなくてはなりません。でも、それが森で生きていくということ。 むしろ二人は400坪ある敷地全部を家だと考え、野鳥や小動物たちを見守り、焚き火にいたり、畑でハーブを育て、林のなかに山菜やきのこを見つけ、森とひとつになる生き方をよしとします。日々の喜びをもたらすために、工夫の余地のある暮らしこそが豊かなのです。 そして、Kさんは言います。「人間より木の方が長生きです」。つまり、はじめに森ありき。「ずっと先の未来に僕らの家がなくたって、この土地が周囲の植生に馴染むような、そんな森づくりが僕らの務めです」

僕らより森の木々の方が長生きだから





M お気に入りの椅子を窓際に置いて、朝の光と風を感じながらコーヒーを飲むのが、奥様のとおきの時間。 **N** 「八ヶ岳がドーンと見える場所より、その麓のなかに入って暮らしたい」という二人の思いが叶った。

DATA

敷地面積

延床面積

1F面積

デッキ面積

1327.92㎡

63.76㎡

63.76㎡

11.59㎡

(400.90坪)

(19.25坪)

(19.25坪)

(3.50坪)

工法／木造在来軸組工法

基礎／ベタ基礎

構造材／柱：ベイマツ・スギ無垢材4寸角、梁：ベイマツ・クリ、土台・デッキ：ヒノキ

断熱材／天井：スタイロフォーム75mm＋グラスウール300mm、壁：スタイロフォーム40mm＋グラスウール100mm、床：スタイロフォーム100mm

主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム鋼板、外壁：スギ板張り

主な内装仕上げ／天井・壁：ビニールクロス、床：左官仕上げ

開口部／複合樹脂サッシLow-E複層ガラス(アルゴンガス入り)＋木製サッシ(ハーベシーベ仕様)

キッチン／造作カウンター収納

キッチン熱源／業務用ガスコンロ

バスルーム／TOTO

ハーフバス(青森ヒバ使用)

暖房の種類／薪ストーブ

PLAN

1F



I 木サッシの縁取りがスマートで、外の素晴らしい眺めをそのまま取り入れてくれる。キッチンの食器棚は見せる収納で、使い勝手も良さそう。 **J** 寝室はコンパクトに。ただし、ここでもコーナーに切りとった窓が効いている。家が自然と一体になれるのは、敷地のポテンシャルに設計力が応えているから。 **K** 風呂はハーフユニットで、木部は青森のヒバを使用。その香りは森の露天風呂のよう。 **L** 玄関に立って室内を見る。LDKなどはその気配が伝わってくる程度に隠し、見せる。間接照明や山なりにくりぬいた壁、ニッチの飾り棚などに遊び心が感じられる。

Comment

Owner: Kさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは？

A 森のなかに溶け込むように、森を呼吸するように暮らすこと。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

A 寝室は小さく、風呂とLDKは広々と。四季を通じていつでも森を感じられる開口やデッキ。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A デッキを入れても23坪ほどの小さな家なのに、「耳で建てる」の言葉どおり、理想を詰め込んでもらえ、動線も使いやすい。

Builder: 担当／瀧澤洗太さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

A 自然のなかで人が生きることの豊かさを感じられる住まい。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A クリの丸太の曲がりを生かして梁にした手仕事。暮らしと自然が調和した空間。ヒバを使った風呂の香り。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

A K邸のような提案型注文住宅の場合、打ち合わせ回数が限られるので、初回の会話でじっくりお話を伺います。